

株式会社テクノマセマティカル

2021年3月期<第21期> 第2四半期決算説明会 資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2020年11月25日

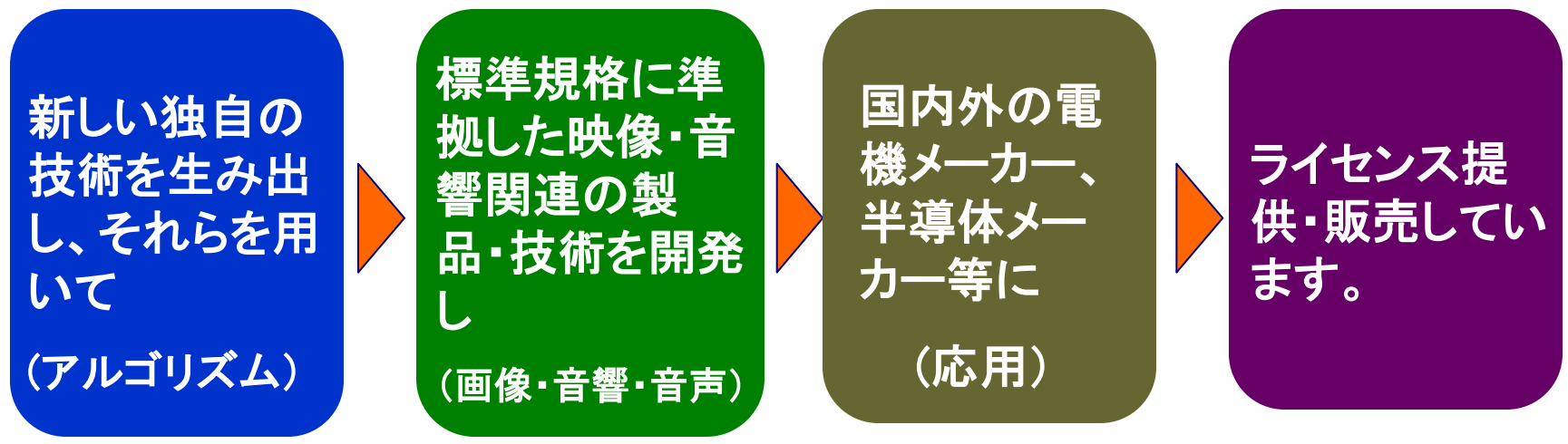
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 2021年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをあらかじめご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

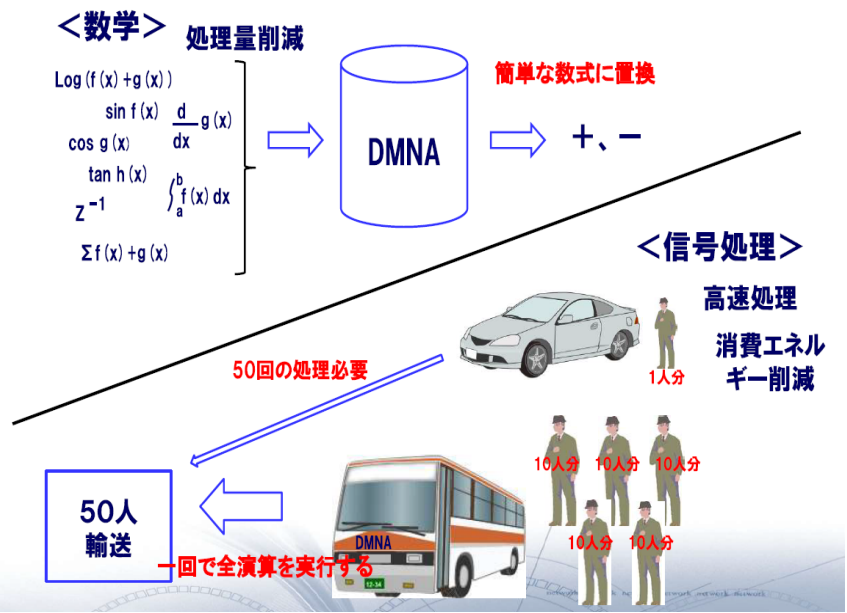


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

テクノマセマティカルは、独自の技術「DMNA」を用いた、高品位なソフトウェア・ハードウェア技術・製品で、豊かな社会の実現に貢献します。

DMNA(Digital Media New Algorithm)の特徴



因数分解、折り返し演算、階層化処理等の数学的手法を用いて、演算の負荷を劇的に削減する新アルゴリズム、それがDMNA (Digital Media New Algorithm) です。
DMNA は東京大学 客員教授の田中正文が中心となって開発、その応用分野は動画像に限らず、静止画、音声、音響等あらゆるデジタルメディアに広がっています。

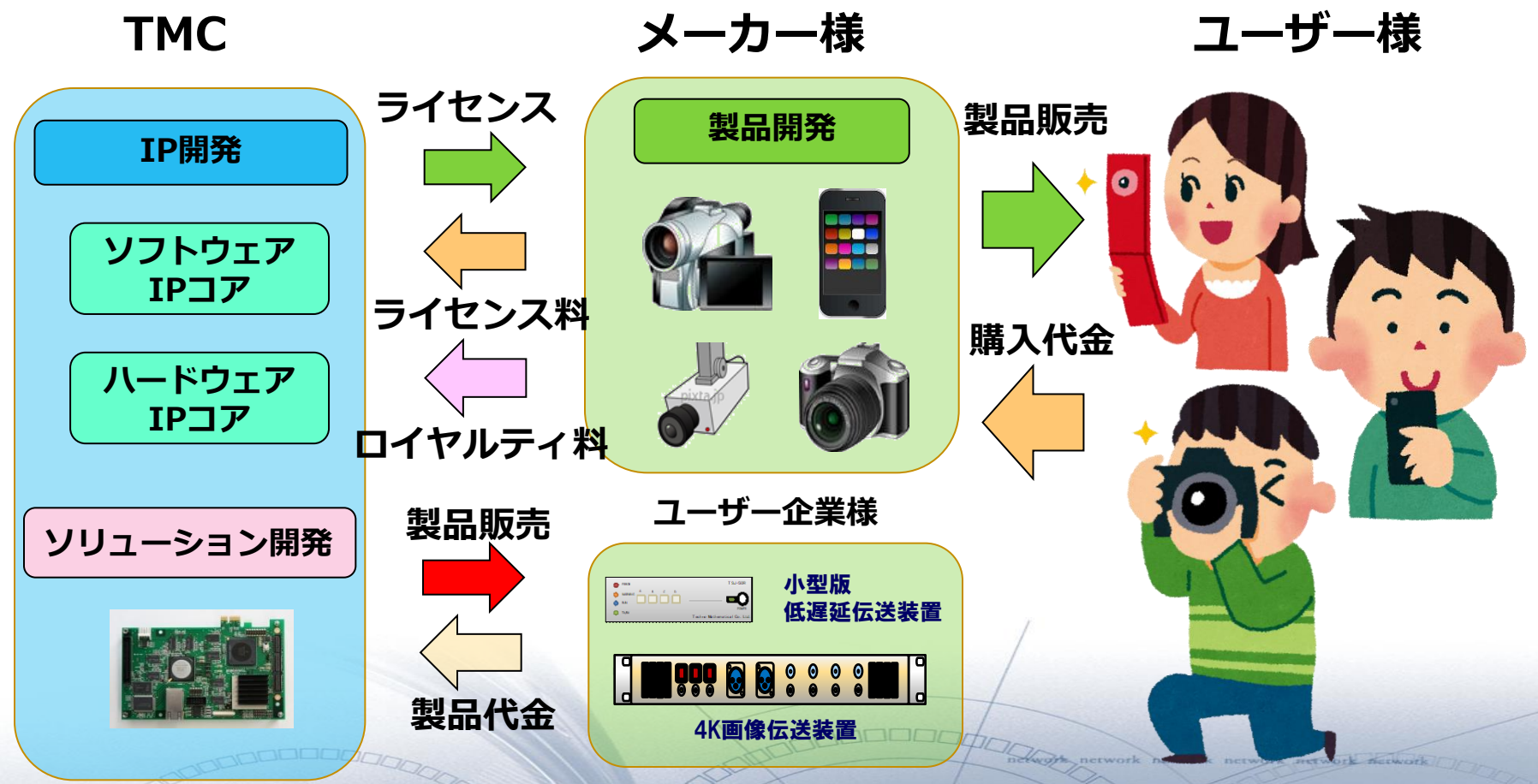
- 低消費電力** : CPU負荷をドラスティックに削減 !
(H264 Dec ARM 2572Mhz => 407Mhz)
- 高速化** : CPUの動作周波数を上げずに性能向上
(フレームレート: 60fps -> 120fps)
- 高画質** : 新アルゴリズムによる2dbの画質向上
(空気を写す画質、)

TMC製品搭載機器例、



1-3 ビジネスモデル

当社は、独自のコンピューターアルゴリズム DMNAを用いて高品質・低消費電力・低遅延のIP・ソリューションを開発し、国内外のメーカー様等にライセンス提供または販売しています。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

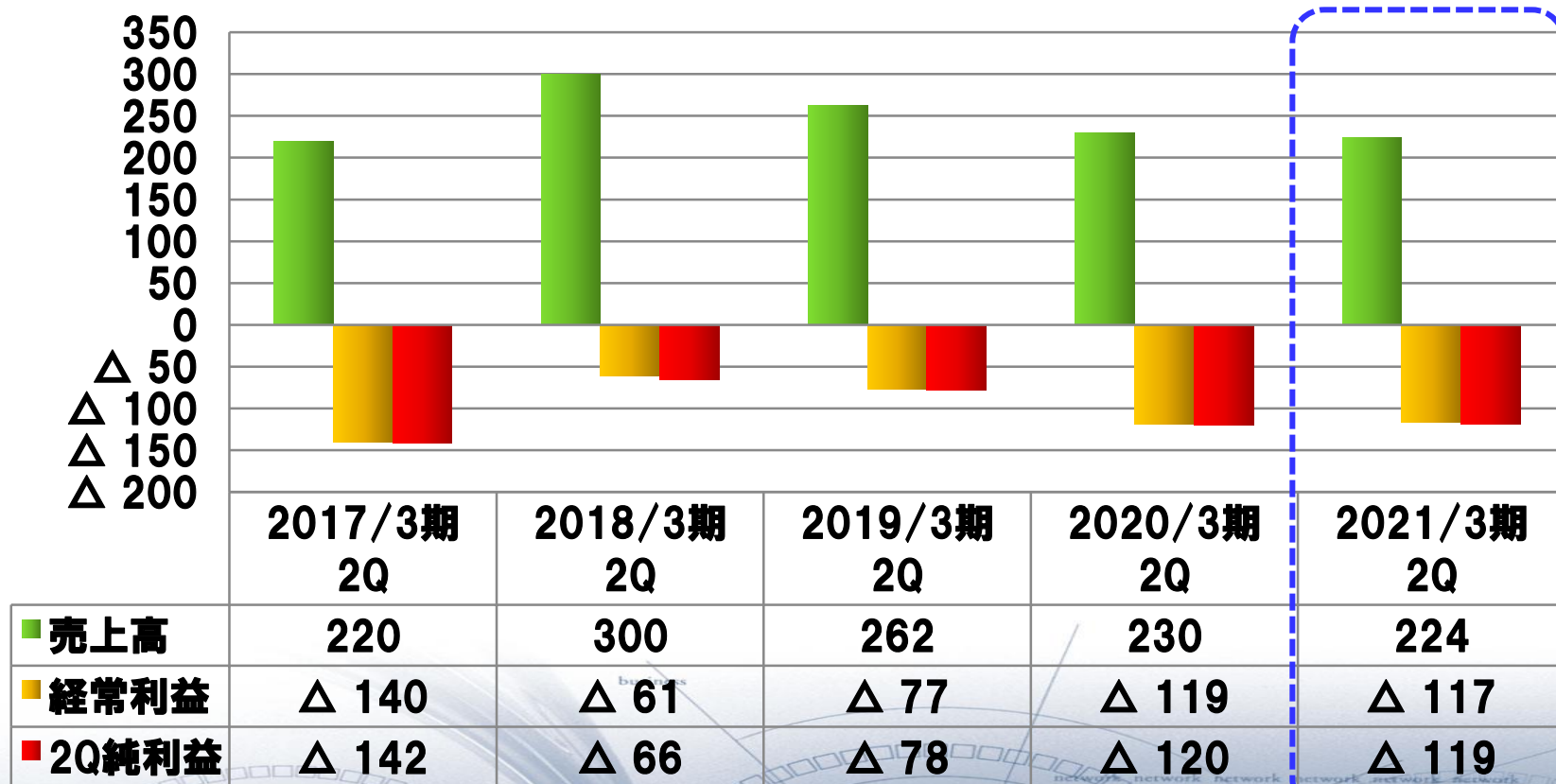
4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

- ◆ 売上高 前年同期間比ほぼ横ばい
新規ライセンス案件低迷も米国TV局向け装置物販売拡大が主な要因
- ◆ 損益面 売上高と同様、損益面も赤字幅ほぼ横ばい

(百万円)



2-2 損益計算書 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位：百万円)	当第2四半期（累計） (2021/3期2Q)	構成比	対前年同期間 増減比	前年同期間 (2020/3期2Q)
売上高	224	100.0%	Δ2.4%	230
売上総利益	202	90.2%	Δ1.3%	205
販売管理費	315	140.1%	Δ2.9%	324
営業利益	Δ112	Δ49.8%	—	Δ118
経常利益	Δ117	Δ52.3%	—	Δ119
四半期純利益	Δ119	Δ53.0%	—	Δ120

2-3 貸借対照表 (2020年9月30日)

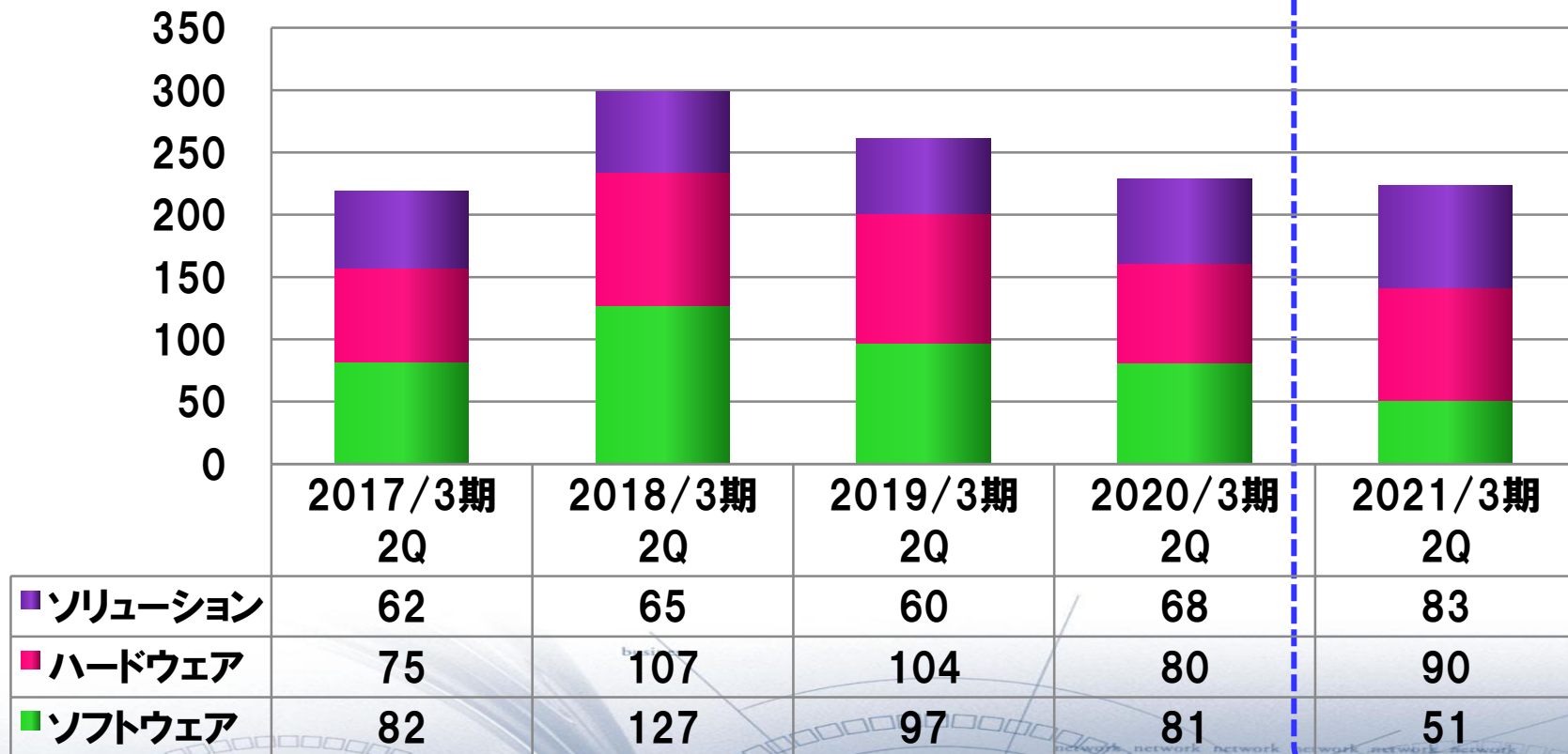
(単位:百万円)

	2020/9末	構成比	対前期末比 増減	2020/3末
流動資産	1,736	68.2%	△169	1,906
固定資産	809	31.7%	△2	812
資産合計	2,546	100.0%	△172	2,718
流動負債	71	2.8%	1	70
固定負債	9	0.3%	0	8
純資産	2,464	96.8%	△174	2,639

3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期間比37%減・・・デジカメ、車載向けロイヤルティの減少が響く
- ◆ハードウェアは前年同期間比12%増・・・海外向け固定長案件獲得に加えロイヤルティが堅調推移
- ◆ソリューションは前年同期間比22%増・・・米国TV局向け小型低遅延伝送装置売上が順調拡大

(百万円)



3-2 売上の内訳(対象市場別)

- ◆放送向けウエイト増加は米国TV局でのリモートスタジオ向け案件増加が主因。
- ◆カメラ向けおよび車載向けウエイト低下はロイヤリティ減少が主因。



4-1 2021/3期通期業績見通し

(単位:百万円)

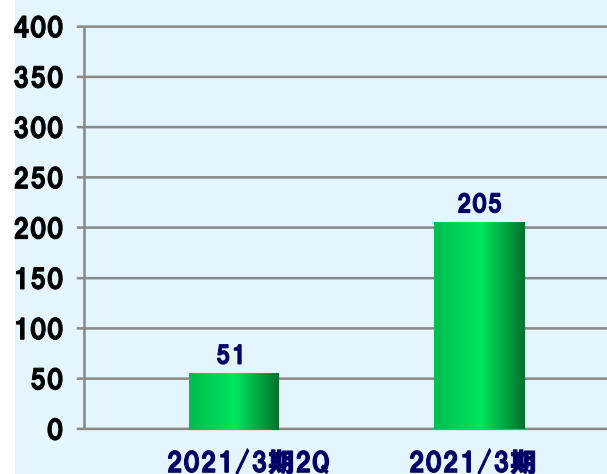
	通期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	620	95	18.3%	524
経常利益	△77	96	— %	△173
当期純利益	△80	96	— %	△176

- 新型コロナウイルス感染症の治療薬・ワクチン開発が進展することなどにより、我が国をはじめ主要国で現在行われている同感染症の感染状況を注視しながらの経済活動の再開が順調に進み、第3四半期から各種経済活動の回復度合いが徐々に加速していくことが前提条件。
- この前提条件の下、ソリューション事業売上とロイヤルティの増加を見込み、増収効果により利益水準も赤字ながら前期より改善する予想。

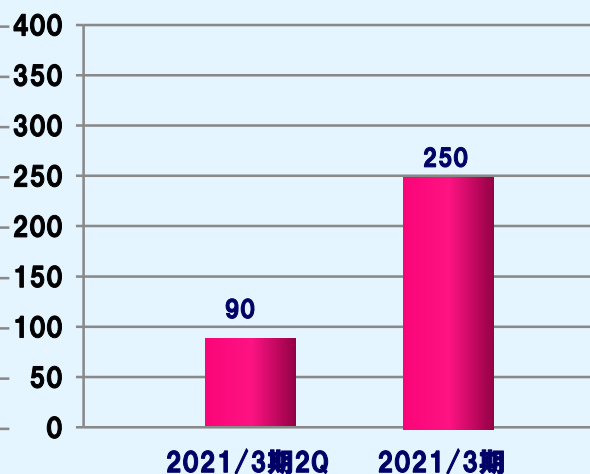
4-2 部門別見通し

<売上高> (単位：百万円、2021/3期2Qは実績値 2021/3期は計画値)

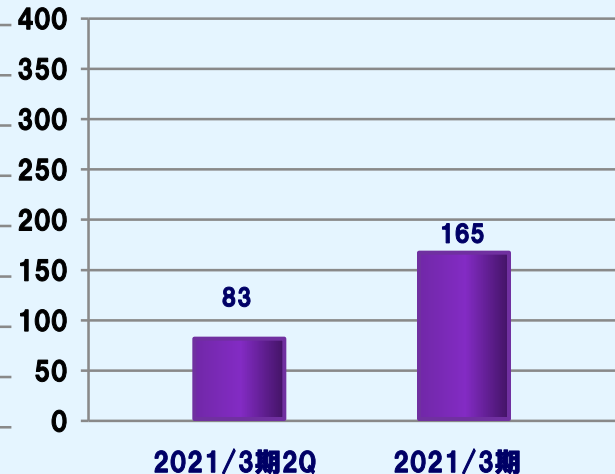
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション



- ・オーディオ、ボイス関連は**携帯端末、車載、音声認識**向けに需要見込む
- ・各種**配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む

- ・**ディスプレイ装置**向け中心に固定長圧縮、デムラ圧縮などの需要見込む
- ・**デジカメ、放送機器**向け中心に**H.265、4K/8K**案件獲得目指す

- ・**低遅延小型版伝送装置**の国内外での堅調推移見込む
- ・各種**システム案件**の獲得見込む

5 2021年3月期における課題と進捗

1. 売上拡大

(1) IPライセンス事業: 4K/8K/H.265/固定長/認識率向上SW案件の獲得

⇒ 音声認識率向上SWは、複数顧客での評価進み、下期案件化期待

(2) ソリューション事業: 市場ニーズを先取りした新製品開発

⇒ 5G環境を最大限に生かす超低遅延映像伝送システムの開発・試作

2. 海外ビジネスの対応強化と案件数拡大

⇒ 中国企業向けIPライセンス案件(固定長圧縮技術他)の獲得

3. 全部門の意識改革による黒字体質の構築

⇒ 月次進捗会議(営業)、工数管理の徹底(開発)を通じ意識改革を実施

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

⇒ 4マイク対応ビームフォーミングの開発他

6-1 当社技術のご紹介(一部)

低遅延 モバイル映像伝送システム

.1 Point-One

現場の映像・音声を遅延0.1秒・低レートで伝送するモバイルツール

「Point-One」は、最大16台のスマートフォンから実用的なレベルの映像・音声を0.1秒の低遅延かつ低レートで伝送し、マルチビューPCでモニタリングするシステムです。伝送路は公衆インターネット回線網を使用し、クラウドサーバ環境が不要なため、安価なシステム構築が可能です。



6-2 当社技術のご紹介(一部)

SDR-WDR コンバート IP

1 概要

WDR (Wide Dynamic Range) とは、逆光などの明暗差の激しいシーンで、暗いエリアと明るいエリアのどちらも潰れないように補正を行う技術です。一般的なカメラでは撮影表現できるダイナミックレンジが限られるため、明暗差の激しいシーンを一度に全て捉えることができず、白飛びや黒つぶれが発生してしまいます。

このような白飛びや黒つぶれが発生した画像に対して独自技術による補正を行い、視覚的に見やすく、一般的な物体認識アルゴリズムでも対象を検出しやすい画像を提供するIPです。

2 特長

SDR映像に対して、独自のWDRエンジンで映像の見ばえを改善します。高速なアルゴリズムを採用し、他のアプリケーションの動作も阻害しないので、AIによる物体認識の前処理として最適です。

3 WDRエンジンの構成

● 局所トーンマッピング

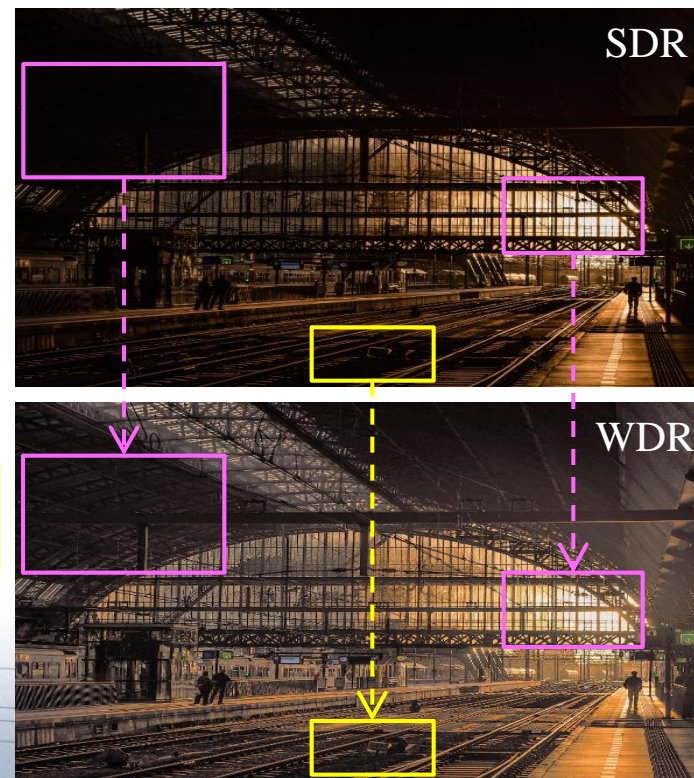
暗部は、補正により明るくなり見やすくなります。ガンマの変更で映像を単純に明るくした時に発生する白飛びを抑制します。

● デイテール・エンハンス

映像全体のシャープネスを向上させます。

4 WDR製品ラインナップ

- ハードウェアIP(FPGA)
- ソフトウェアIP : x86_64 (SIMD最適化)/ARM(NEON最適化)



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp